



青空たかく

長南中学校だより第11号

令和8年3月5日

発行者 徳永 哲生

3年生への感謝、そして応援の気持ちを込めて

朝晩の厳しい寒さも峠を越え、冬から春へと季節の移り変わりが感じられるようになりました。早咲きの桜は満開を過ぎ、本格的な春の訪れはもうすぐのようです。



3月2日に生徒会が中心となって『3年生を送る会』を行いました。3年生はこれまで、学校行事、部活動、生徒会活動、学習に対し、自分・仲間・後輩のために頑張ってきました。「先輩が卒業するという実感がまだ沸かない」「小学校のときからお世話になった」「歌で感謝の気持ちを伝えたい」・・・いろいろな思い

をめぐらせながら、在校生・卒業生ともに素晴らしい発表でした。長南中の合唱は男声パートが重厚で安定感があるので、女声パートは安心して生き生きと美しさを発揮しているように感じます。多くの保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。



10日に行われる『卒業式』においても、全校生徒が「思いを形に」表現できるよう職員一同、精一杯取り組んで参りますので、よろしく願いいたします。

「3年生を送る会」を終えて（2年生の感想）

- 1年生の発表は、小道具がたくさんあり、エピソード時の3年生の気持ちをわかりやすく、面白く伝えていてすごいと思った。
- 1年生は初めての送る会での発表なので、緊張がすごくあったにも関わらず、声を張り、シナリオを上手くこなし、演技も上手で、感動した。
- 正々堂々と自信を持って発表している1年生のことを尊敬した。
- 2年生の発表を見ていて、こんなに面白い人たちと同学年であることが誇らしくなった。
仲間の長所や得意なことを再発見することができたいい機会になった。
- 3年生の姿を見て、楽しむところはしっかり楽しみ、真剣な場面は真剣な眼差しになっていて、そのメリハリがすごいと思った。
- みんなが笑ってくれるか心配や不安があったけど、3年生が笑って楽しんでくれたので、とても嬉しかったです。
- ステージから客席を見たとき、先輩たちが弾けるような笑顔で見てくれていたのが、印象的でした。
- 公立の合否発表の前日で複雑な気持ちの先輩もいたかもしれないが、笑顔で感謝しているので、尊敬しました。
- 来年はあの3年生たちみたいになりたい反面、超えたいと思いました。
- 今まで身近にいた3年生がこれから高校生等になり、色々な道を歩むんだと考えると、中学生はあっという間に過ぎるんだという気持ちが湧きました。
- 3年生の最後の合唱は、とても力強い歌声で、(私たちに)学校のことを任されたような感じがしました。

県立高校入試を終えて

2月17・18日に千葉県公立高校の入学選抜試験が行われました。昨年も触れましたが、近年の入試問題は、すべての教科で問題文の量が非常に多く、「問題文を読み終わる前に時間が足りなくなった」という声を受検生から多く聞かれるようです。単なる知識の暗記ではなく、膨大な資料や対話文から必要な情報をすみやかに抜き出す「読解力」が求められています。

3年生の読書家である〇〇〇〇さんと〇〇〇〇くんに入試について伺ったところ、共通して「長い問題文を読むのが苦ではない」と教えてくれました。やはり読書は「読解力」の基礎を作ってくれると思います。

一方、中学生がインターネットを利用する時間は平日平均5時間24分でそのうち「勉強・学習・知育」は1時間6分であるという報道がありました。（こども家庭庁2025調査結果）読書や自学には、「心と時間の余裕」を持って向き合う必要があります。1日の時間の使い方について改めて考えさせられます。

ちなみに読書が好きになったきっかけを尋ねると、〇〇さんは「小4のとき、コロナ禍で家で過ごす時間が増えたこと」、〇〇くんは「中2のとき、書家の武田双雲さんの本と出会ったこと」とのことでした。

平和教育について（3年生対象）

2月26日（木）に長南町遺族会の方々（竹之内様・今関様・伊坂様）による講話をいただきました。目的は「戦争を直接経験した遺族の方々から戦争体験の講話を聞くことで、その体験した記憶を次世代として受け継ぎ、戦争の悲惨さ・平和の尊さについて理解する」です。

3名の方々は、親・兄弟姉妹・親戚を戦争で失ったこと、戦争で戦うための訓練（竹槍・ほふく前進）を学校で行っていたこと、食べ物のない飢えのつらさ等、記憶をたどりながら体験談を熱く語っていただきました。生徒たちは想像力を働かせながら、話を聴きました。

【生徒の感想】

- 実際に戦争を体験している人でさえ、80年経ち、忘れてきているということを知り、自分が学んだこと、知っていることを次の世代に伝えていく大切さを実感した。
- 教科書や小説などの話とは違い、本当に体験した人の話は、心の響き方が違うと思った。
- （戦中戦後に）命をつなげてくれた人々、当たり前のようにある食料・衣料、その他のものに常に感謝し、「平和であること」をかみしめながら生きていこうと強く決めた。
- ロシア・ウクライナ戦争が始まり今年で4年目になり、テレビを見るたびに「いつ終わるんだろう」と思っています。この先、80年前のような戦争が起こらないように自分たちでできることを探していこうと思いました。

スクールカウンセラー(松本克彦先生)への相談

- 申込方法 (1) 電話にて直接申し込む：(46) 3719 【直通】
(2) 教頭、担任、養護教諭を通じて申し込む：(46) 1190 【学校】
- 相談日 3月6日（金）、13日（金）
- 時間 10:00～16:00
- ※セクハラ・いじめ等の相談については、茂任教頭と本橋養護教諭が担当しています。